

話題百選

衛星利用で 災害時も車両管理可能に

(株)ロジネットシステムズ

おほひでひこ
於保 秀彦 社長

佐世保市出身。1956年3月
28日生まれの66歳。福岡大
学理学部卒。趣味は登山



アや通信設備故障の影響を受けずに管理者の端末に送信できる。於保社長は「令和4年度国土交通省の災害対策車両に導入予定。救援活動の一助になれば」と話している。

スイフトGPSは2013年に開発した。車両動態管理システムは大手企業の製品などさまざまなものが多い。一方、同社では必要最低限の設計で価格を抑えつつ、移動の速度・方向や停車状態をマップ上に画像で分かりやすく示す機能や直近・範囲指定の移動履歴表示といった基本機能に加え、トラックの庫内温度管理やドアの開閉管理、アルコール検知器連動機能などをオプションで提供している。

GPS車両動態管理システムの開発・販売、通信事業などを手掛ける(株)ロジネットシステムズ(福岡市東区土井2丁目、於保秀彦社長)は、自社で展開する車両動態管理システム「SWIFT GPS」において、これまでの携帯電話回線ではなく衛星通信を利用した「衛星通信スイフトGPS」を開発し、4月から販売開始した。

通常のスイフトGPSは災害の際に基地局が被災すると使えなくなる可能性があるが、衛星通信を使用することでエリ

「クラウドを介さず車載端末から直接管理者に車両の位置情報を配信するため、よりリアルタイムに情報を把握できる点などを評価いただいている。コストを抑えたい企業などのニーズも高い」と於保社長。これまでにユーザー100社、計3000台を販売しており、早期での1万台販売達成を目指していく。